

## 「心の扉」

### 黙示録 3章20節

聖学院幼稚園 教諭 田中 宣恵

ここに小さな扉がありますね。(画用紙で作った扉を使用) いったい誰のお家の扉でしょう!? 先生のお家でしょうか、皆のお家でしょうか? 実はこれは、皆が持っている扉なのです。見たことがないって言うお友だちもいるけれど、先生も持っているし、幼稚園中の子どもたち全員が持っているものなのです。いったいどこにあるのでしょうか!? 皆思い出してみてください! やっぱり見たことがないですか? では、先生が教えてあげます。この扉は、皆の心の中にいつもある扉なのよ。心の中だから見えない所にあるのだけれど、いつも心の中にしまわれてあります。

この扉をトントンってたたく人が一人いらっしゃいます。その方は、イエス様というお名前です。イエス様は、皆のことが大好きでいつも傍で見ていてくださるお方です。〇〇くんが困っている時も、〇〇ちゃんが良いことをした時もどんな時もイエス様は見ていてくださいます。扉と同じでイエス様も見えないけれど、すぐそこにいらっしゃいます。イエス様のことを大好きになると、イエス様は扉をトントンってたたいてくださいます。皆はイエス様のことが好きですか? 「すきー!」 じゃあすぐにイエス様が来てくださるから、扉をたたいてみましょう。トントンの後は、皆返事をしてくださいね。

教師「トントン」、子どもたち「はい!」 さあ、扉が開きました。何か入っていますね。これは、「ありがとう」です。(ハートの形の紙に文字がかかれたもの) イエス様は、ありがとうの言葉が言えるようにありがとうの心をくださったのです。今、〇〇くんにも〇〇ちゃんの心の中にも入っていったわ。まだ扉の中に入っているみたいですね。教師「トントン」子どもたち「はい!」 次に出てきたのは、「ごめんなさい」です。皆は時々、すぐにごめんなさいって言えない時があるでしょう。お友だちとけんかをしてしまった時…どうですか? そういう時に「イエス様ー」って声を掛けてみましょう。そうすればすぐに扉をたたいてくださいます。すると「ごめんなさい」の力を与えてくださいます。さあ、「ごめんなさい」も今皆の心の中に入っていましたよ。まだまだ扉の中には何か入っているみたいです。教師「トントン」子どもたち「はい!」 今度は、「しんせつ」の心が入っていました。お友だちが困っている時に、助けてあげられる心です。さあこの心も今、ひよこ組皆の心の中に入ってしまったわ。なんだか心の中が元気になってきたのではありませんか!? でも、イエス様のことなんか知らない、いつも自分のことばかりになっているとイエス様は見ているだけなのよ。見ながら、待っていてくださっています。皆が声を掛けてくれるのを! 今みたいに「はい」って答えられる人になりましょうね。そして、どんな時もイエス様のことを忘れずに、今いただいた「ありがとう」「ごめんなさい」「しんせつ」の心を大切にしていきましょう。

2013年9月19日 聖学院幼稚園 クラス礼拝